

# CtiAgentDLL API 仕様書

2009/7/26

中村コージ

## 目次

1. 初期化 (initialize)	3
2. ライセンスキー登録 (setKey)	4
3. ログイン (login)	5
4. ログアウト (logout)	6
5. 発信者番号取得 (getNumbers)	7
6. 開放要求 (release)	8
7. ロギング出力情報取得 (getLogging)	9
★ API の使用例	10

---

 初期化
 

---

CtiAgentDLL ライブラリにパラメータを設定して、初期化します。

```

BOOL initialize(  HWND          hWnd,
                  unsigned int  msgid,
                  const char *  myno,
                  int           myport,
                  const char *  uid,
                  const char *  passwd,
                  const char *  serverip,
                  int           serverport,
                  int           expire
                );
  
```

## 入力

hWnd	: DLLからの通知用 Window メッセージを受け取る Window のハンドル
msgid	: DLLからの通知用 Window メッセージ番号 (※)
myno	: 自分の内線電話番号
myport	: パソコンのポート番号
uid	: SIP ユーザ ID
passwd	: SIP パスワード
serverip	: SIP サーバ IP アドレス
serverport	: SIP サーバポート番号 (通常は 5060)
expire	: Expire 時間(秒) ... 0 の場合デフォルト値を ini ファイルから読み出す

## 返り値

TRUE : 初期化成功      FALSE : 初期化失敗

## ※ 通知用 Window メッセージ番号

パラメータに設定した Window メッセージ番号を先頭にして、通知用 Window メッセージが定義されています。

設定した Window メッセージ番号	= LOGIN_SUCCESS	(ログイン成功)
設定した Window メッセージ番号 + 1	= LOGIN_FAIL	(ログイン失敗)
設定した Window メッセージ番号 + 2	= LOGIN_FAIL2	(ログイン継続失敗)
設定した Window メッセージ番号 + 3	= CALL_OFFERED	(電話着信あり)
設定した Window メッセージ番号 + 4	= LOGOUT_SUCCESS	(ログアウト成功)
設定した Window メッセージ番号 + 5	= LOGOUT_FAIL	(ログアウト失敗)
設定した Window メッセージ番号 + 99	= LOGING_OUTPUT	(ロギング出力あり)

注意) この初期化処理を行う前に、setKey でライセンスキーを登録しておく必要があります。

ライセンスキーを登録せずに初期化を行うと、着信監視は 1 時間程度しか使用できません。(トライアルモード)

---

## ライセンスキー登録

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、ライセンスキーを登録します。(初期化の前に行ってください)

BOOL setKey(const char \* key, const char \* mail)

### 入力

key : ライセンスキー(32 文字の英数字)  
mail : ライセンスキーと一緒に登録するあなたのメールアドレス

### 返り値

TRUE : 登録成功 (着信監視の時間制限はありません)  
FALSE : 登録失敗 (着信監視は 1 時間程度で停止します)

---

## ログイン

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、SIP サーバへのログインを要求します。

BOOL login()

入力 なし

返り値

TRUE : ログイン要求受付

FALSE : ログイン要求エラー (ログインの要求が受け付けられませんでした)

補足

DLL からは、通知用のメッセージとして、以下の 2 つのうちのどれかが非同期的に通知されます。

LOGIN\_SUCCESS (ログイン成功)

LOGIN\_FAIL (ログイン失敗)

---

## ログアウト

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、SIP サーバからのログアウトを要求します。

BOOL logout()

入力 なし

返り値

TRUE : ログアウト要求受付

FALSE : ログアウト要求エラー (ログアウトの要求が受け付けられませんでした)

補足

DLL からは、通知用のメッセージとして、以下の 2 つのうちのどれかが非同期的に通知されます。

LOGOUT\_SUCCESS (ログアウト成功)

LOGOUT\_FAIL (ログアウト失敗)

---

## 発信者番号取得

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、直近の電話着信時の発信者の電話番号取得を要求します。

BOOL getNumbers(int \* counter, char \* src, char \* dest)

### 出力

counter : 着信のシーケンス番号 (着信がある毎に 1 つずつ増えます)  
src : 発信者の電話番号  
dest : 着信先の電話番号(宅内側の NTT の電話番号)・・・内線番号ではありません。

### 返り値

TRUE : 番号取得成功  
FALSE : 番号取得失敗

### 補足

DLL から、「CALL\_OFFERED (電話着信あり)」の通知があがってきたら、直ぐに本 API を呼んで、発信者の電話番号を取得してください。

---

## 解放要求

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、解放を要求します。

void release()

入力 なし

返回值 なし

補足

アプリケーション終了時には、必ずこの API を呼んで、DLL のリソース解放を要求してください。  
また、再度初期化を行う場合も、必ずこの API を呼んでください。

---

## ロギング出力情報取得

---

CtiAgentDLL ライブラリに対して、ロギング出力情報の取得を要求します。

BOOL getLoging(UINT i, CHAR \* str)

入力

i : ログ番号 (※)

出力

str : ログ出力文字列

返回值

TRUE : ログ取得成功

FALSE : ログ取得失敗

補足

DLL から、「LOGING\_OUTPUT(ロギング出力あり)」の通知があがってきたら、Windows メッセージの付加情報の第一パラメータ(wParam)がログ番号となります。

このログ番号を指定して、本 API を呼ぶことで、ロギング出力情報を取得できます。

★ APIの使用例

